

第4回 株式会社 囲碁・将棋チャンネル 放送番組審議会（議事概要）

第4回の放送番組審議会は、平成26年7月10日（木）、私学会館 アルカディア市ヶ谷（7F 白根）にて開催された。

会議では、数分にまとめた番組VTRを上映し、計6番組について審議を行った。

▼出席委員

委員長	岡田 裕介	東映株式会社 代表取締役社長
	足立 盛二郎	公益財団法人日本棋院 理事
	兵頭 俊夫	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 物質構造化学研究所特別教授
	音 好宏	上智大学 文学部 新聞学科 教授
	中村 幸雄	株式会社損害保険ジャパン 顧問
	金子 光男	公益社団法人日本将棋連盟 学校教育アドバイザー
	小川 誠子	囲碁棋士／公益財団法人日本棋院 理事
	関根 紀代子	将棋女流棋士／公益社団法人日本将棋連盟 女流棋士会名誉会長

委員総数：9名 出席委員数 8名

欠席：野田 慶人（日本大学 芸術学部 学部長）

▼事務局側出席者

岡本 光正	代表取締役社長
梅澤 秀行	業務部部长
遠藤 健	業務部課長
上枝 史乃	業務部
高田 智子	業務部

▼「自戦実況について」

☞対局者の考えが、直後に生で聞けて良かったと好評でした。（事務局）

○とてもおもしろいと思う。打ったばかりの考えを対局者の生の声で聞けるのが良い。若手が伸びているので、考え方の違いも判るし、トップ棋士 対 若手というものもおもしろいのではないか？（小川委員）

○対局者の解説は他ではないので、素晴らしい。（兵頭委員）

○詰碁・棋譜解説は客観的すぎる。こういう人間的なものは、従来のものを変える第一歩になるのではないか。（足立委員）

- 解説と対局者の考えの違いはギャップが大きいので、自分で指して自分で解説というのは本人の声が聞けて良いと思う。(中村委員)
- 対局をしてから、直後に解説というのは対局者の負担が心配だが、解説の解説というのもおもしろいと思う。(金子委員)
- 対局者としては自戦譜を解説をするのは恥ずかしいだろうが、継続で慣れていくと思うので、継続することが良いのではないか。(音委員)

▼生放送について

「棋戦優勝者選手権戦」 「将棋界の一番長い日」 「第72期名人戦 ライブ速報」

- 生放送はこれがはじめてですか？(兵頭委員)
 - 自社が関わる棋戦は放送の関係上、LIVE で出来ない。囲碁もスポーツに分類されることもあるので、スペシャルとして生放送を増やしていきたい。(岡本社長)
- 生放送はハプニングもあるだろうし予想しながらの放送なので大変そうだが、視聴者としては楽しい。ツイッターのような生の意見は失礼なものもあるので、放送では制限をかけているのか？(中村委員)
 - 当社の放送は、FAXや電話でワンクッションおいています。(事務局)
- 生放送はスポンサーの関係もあるし大変かと思うがとても良いと思うので、もっと宣伝に力を入れてほしい。(小川委員) → 今回は宣伝が足りなかった。今後は宣伝にも力を入れていく。(事務局)
- 「棋戦優勝者選手権戦」大盤解説のすぐ横で対局するというのはいかがなものか？(岡田委員)
- 途中で別室に移動するなどの配慮は必要ではないか？(兵頭委員)
- イベントか、真剣勝負かは分けた方が良くと思う。囲碁に将棋界のような順位戦がないのは残念。(岡田委員)

▼囲碁スペシャル「盤上から人を育てる ～菊池康郎～」

- ☞今後は、囲碁ガールなども取り上げていきたいと考えております。(事務局)
- シリーズとしてあるのか？(兵頭委員)
- 詰碁・棋譜解説だけでなく、こういう囲碁を愛する人を取り上げるのはとてもタイムリーで良い。(足立委員)
- 「囲碁＝囲碁スペシャル、将棋＝将棋スペシャル」としないで、「囲碁・将棋スペシャル」と、囲碁と将棋両方に跨った方が良いのではないか？(兵頭委員)
 - 囲碁と将棋の共通視聴者が少ないので、編成上悩みどころである。(事務局)
- 「囲碁スペシャル」となると囲碁が解からないから観ない。このプログラムだと「囲碁将棋スペシャル」となっていると興味深く観られる。そうすると将来的にシリーズ化して、DVDなどのマーケットも考えられるのではないか。(金子委員)

▼「電聖戦」について、その他、囲碁・将棋チャンネルの活動について

- 宣伝について、契約者に月に一度ぐらい直接メール配信をするなどはどうか？（兵頭委員）
 - 会員制度などは考えていきます。（事務局）
- こういう番組の際、スポンサー名を画面中に出すのは難しいのか？（中村委員）
 - 番組の途中でCMは難しいので、前後にCMを入れています。（事務局）
- ニコニコ動画へはどのようなものをアップしているのか？（足立委員・小川委員）
 - 現時点では、これまでの番組やリピート作品のみ。有料会員向けなので、棋戦の取材映像などここでしか見られないものを配信していきたい。（事務局）
- 人気の番組・企画はどのようなものか？（金子委員）
 - 生放送「将棋界の一番長い日」の視聴率が良い。スカパーとの同時放送で、宣伝もたくさんやっているの、告知は重要と考えている。普及も重要と考えているので、イベントとして「囲碁大会」「将棋大会」を増やして、番組とリンクさせていきたい。（事務局）
- 囲碁・将棋の昔からある慣例の中で、色々とトライされていて大変がんばっているという印象を受ける。忘れてはいけないのは、視聴者あつての放送だということ。多数に向けて発信しているのだということを忘れてはいけない。子供たちの団体戦を学校対抗で行うなど、底辺を強化していくことが普及につながると考える。（岡田委員長）

囲碁・将棋チャンネルでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。

以上